

2004年12月7日
ダイキン工業株式会社
広報部

〈ダイキン「第6回 現代人の空気感調査」〉

～ ビジネスマン、OL800名に聞いた「冬のオフィスの空気に関する意識調査」結果発表 ～

風通しのよいオフィスは、業績の見通しも明るい!?

94.4%がオフィスの空気が、仕事の効率や成果に影響を与えると回答

ダイキン工業株式会社（本社：大阪市）では、全国のビジネスマン、OL800名を対象に、現在働いている「冬のオフィスの空気」についてどのように感じているのかをテーマとしたアンケートを実施しました。

ビジネスマンやOLが平日の大半の時間を過ごすオフィス。そのオフィスの空気が仕事の成果や効率にどのような影響を与えているのか、また風邪や花粉症のシーズンに向けたオフィスの空気の理想的なあり方などについて聞いてみました。

「冬のオフィスの空気に関する意識調査」の主な結果

- ・女性の半数以上（56.0%）が日常的にオフィスの空気を意識している。男性で日常的に意識するのは32.5%。-----3ページ
- ・9割以上（93.6%）がオフィスの空気を“不快に感じている”。オフィスの空気の不快三大要素は「室温ムラ」「乾燥」「空気のよどみ」-----4ページ
- ・自分がいるオフィスの空気を総合的に見て100点満点で採点すると64.4点。最も点数が低いのが「残業時のオフィスの空気」で男性（61.1点）、女性（54.4点）。全般的に平均点は男性より女性が低く、年齢別では若い人（20代・30代）ほど平均点が低い傾向。-----5ページ
- ・ オフィスの空気が、仕事の効率や成果に「多少影響があると思う」（51.4%）、
・ 「大いに影響があると思う」（43.0%）を合わせると94.4%が「影響がある」と回答。-----6ページ
- ・ 風通しのよいオフィスは、業績の見通しも明るい!?
オフィスの空気を高く評価（80点以上）している人の82.8%が自分の会社の業績が昨年と比べて“上がっている”または“ほぼ横ばい”と回答。今後1年間では50%が“上がると思う”と明るい見通し。-----7ページ
- ・ 8割（79.3%）のオフィスが何らかの禁煙・分煙対策を実施。しかしその反面で、喫煙者・非喫煙者それぞれから、新たな不満の声も。-----8ページ

【はじめに】

ダイキン工業は、“空気”にこだわり、また空調の技術を進化させてきた空調のトップメーカーとして、日頃あまり意識されてこなかった“空気”についてもっと多くの方々に関心を持っていただきたいと考え、2002年より“空気”に関する現代人の意識を調査する「現代人の空気感調査」を実施しています。

第6回目となる今回の調査では、“オフィスの空気”に関する実態を聞き、オフィスの空気が仕事の効率や成果に与える影響や、今後の理想的なオフィスのありかたを考えることを目的として、全国のビジネスマン、OL各400名の計800名を対象にアンケートを実施しました。

1. 調査対象及びサンプル数

オフィスで働く、全国の20～50代のビジネスマンとOL、800人
<属性別内訳>

	合計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳
合計	800	200	200	200	200
男性	400	100	100	100	100
女性	400	100	100	100	100

2. 調査方法：Web調査

3. 調査時期：平成16年11月13日～16年11月15日

4. 調査項目

- ・オフィスの構造（個別の部屋、パーティションによる仕切り、オープンフロア）
- ・オフィス内の人数
- ・オフィスの個別空気調節の可否
- ・オフィスの空気清浄機・加湿器・除湿機の設置状況
- ・オフィスの空気の意識度
- ・オフィスの空気で気になること
- ・自分がいるオフィスの空気に対する評価と採点、改善してほしい点
- ・オフィスの空気が仕事の効率に影響を与えると思うか
- ・仕事の効率向上のためにどのようなオフィス空気の改善が効果的だと思うか
- ・所属するセクションの仕事の成果や会社の業績は向上しているか、今後向上すると思うか
- ・快適に感じる室温、湿度
- ・オフィスの空気は良くなっていると思うか
- ・自分がいるオフィスの空気に関して不快に思っていることや改善してほしい点
- ・花粉症がもたらす仕事への支障と効率の低下具合
- ・自分がいるオフィスの禁煙・分煙対策状況
- ・仕事の効率という観点からのオフィスの禁煙・分煙対策に対する考え

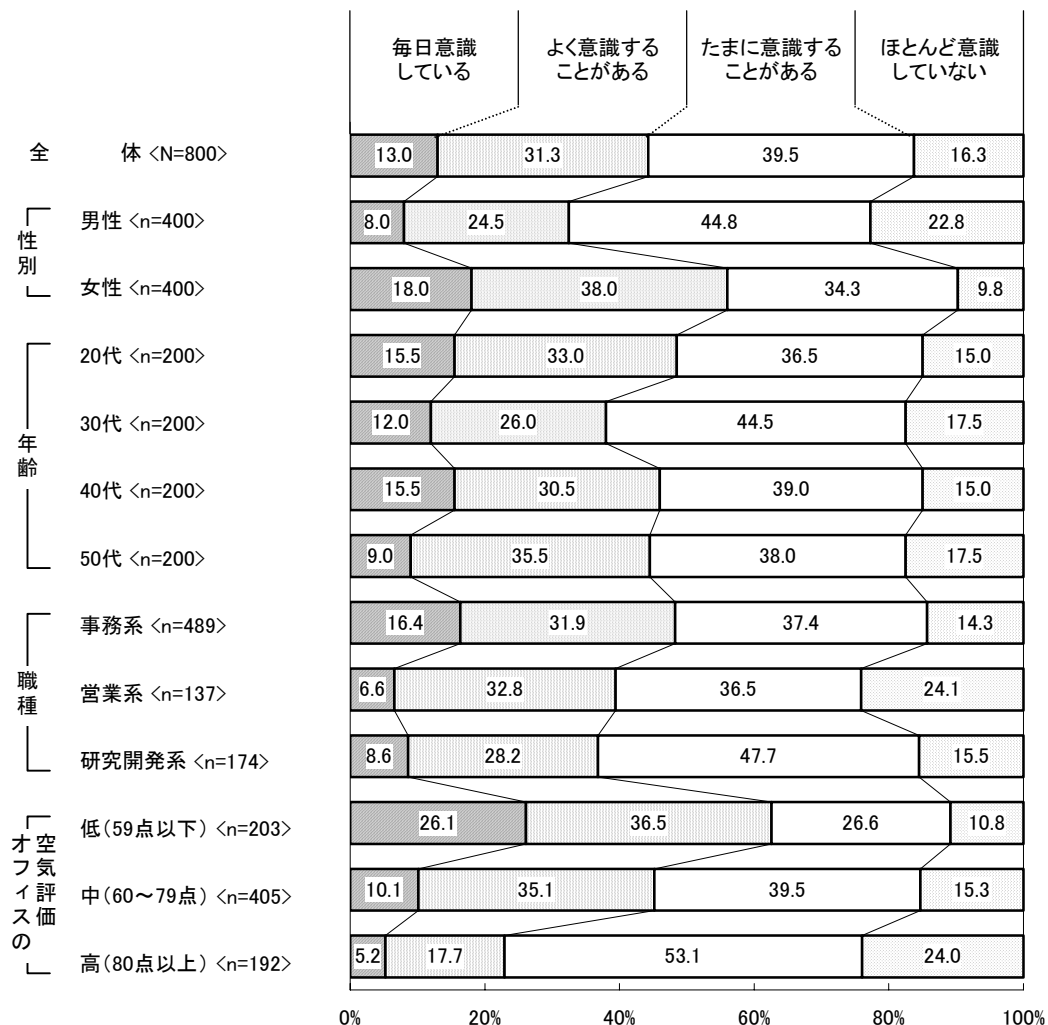
半数以上の女性が日常的にオフィスの空気を意識。

- ◆ 日常的にオフィスの空気を意識している女性は56.0%。男性（32.5%）より20%以上多くの女性が意識している。

日頃オフィスの空気（温度、湿度、汚れ等）をどの程度意識しているかを聞きました。「毎日意識している」（13.0%）は1割強にとどまっているものの、「よく意識することがある」（31.3%）は3割を超えており、「たまに意識することがある」（39.5%）もほぼ4割を占めています。「ほとんど意識していない」は16.3%にすぎません。半数近くが“日常的に意識している”（「毎日意識している」+「よく意識している」）（44.3%）としています。

性別では、“日常的に意識している”は〈男性〉（32.5%）では3割強ですが、〈女性〉（56.0%）では半数を超えています。日頃からお肌の状態などに常に気を配っている女性 のほうが、日常のオフィスの空気には敏感な傾向が見られます。

《日頃、オフィスの空気を意識していますか？》



また、自分のいるオフィスに「空気清浄機」「加湿器」「除湿機」が設置されているかを聞いたところ、「空気清浄機」が26%、「加湿器」が19%、除湿機が9.5%と、いずれもまだ設置率は低い状況でした。

オフィスの空気の不快三大要素は、「室温ムラ」「乾燥」「空気のよどみ」

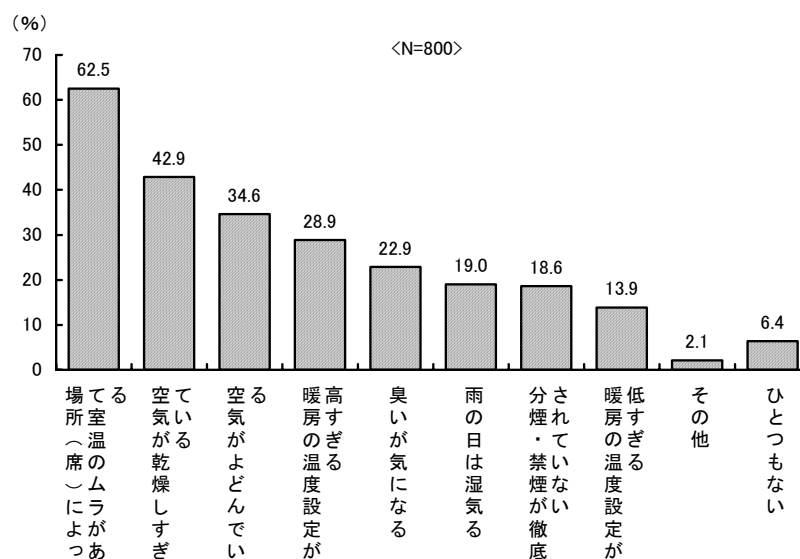
- ◆ 9割以上(93.6%)がオフィスの空気を“不快に感じている”。オフィスの空気の不快三大要素は「室温ムラ」「乾燥」「空気のよどみ」

オフィスの空気に関しては、9割以上が何らかの「不快を感じている」(93.6%)と答えています。不快の内容としては、「場所(席)によって室温のムラがある」(62.5%)が最も多く、6割以上があげています。次いで「空気が乾燥しすぎている」(42.9%)があげられ、以下「空気がよどんでいる」(34.6%)、「暖房の設定温度が高すぎる」(28.9%)、さらに「臭いが気になる」(22.9%)、「雨の日は湿気る」(19.0%)の順で続きます。

「室温ムラ」に関しては、性別に違いはあまり見られませんが、女性は「空気の乾燥」(51.5%)、男性は「暖房の設定温度が高すぎる」(33.5%)が多くなっています。「空気のよどみ」には、オフィスの換気不足が含まれますが、具体的な意見としては、タバコのおいや煙に関する不満の声が多く挙げられました。

オフィスの空気に何らかの不快感を感じている人がこれだけいる以上、まだまだ改善点すべき点が多いようです。

《オフィスの空気です不快に感じることは?》



属性	性別	室温ムラ	乾燥	よどみ	暖房温度	臭い	雨の日	分煙・禁煙	暖房温度	その他	ひとつもない
性別	男性 <n=400>	63.0	34.3	27.5	33.5	17.0	17.0	13.8	15.8	1.5	9.0
	女性 <n=400>	62.0	51.5	41.8	24.3	28.8	21.0	23.5	12.0	2.8	3.8
年齢	20代 <n=200>	61.5	43.5	41.5	34.5	24.0	20.5	18.0	19.0	1.0	5.0
	30代 <n=200>	62.5	48.0	35.0	30.5	25.0	23.0	16.0	14.5	4.0	6.5
	40代 <n=200>	63.5	44.0	34.5	26.0	25.5	18.0	22.5	6.0	2.0	4.5
	50代 <n=200>	62.5	36.0	27.5	24.5	17.0	14.5	18.0	16.0	1.5	9.5
	職種	事務系 <n=489>	62.6	45.4	37.2	27.2	25.2	20.2	22.3	13.5	2.2
	営業系 <n=137>	57.7	38.7	28.5	28.5	18.2	13.1	15.3	14.6	2.2	12.4
	研究開発系 <n=174>	66.1	39.1	32.2	33.9	20.1	20.1	10.9	14.4	1.7	6.9
オフィスの評価	低(59点以下) <n=203>	69.0	54.2	56.2	33.5	42.4	30.0	31.0	16.3	3.0	2.0
	中(60~79点) <n=405>	62.0	43.0	37.3	28.4	20.0	17.8	16.3	11.4	2.5	3.7
	高(80点以上) <n=192>	56.8	30.7	6.3	25.0	8.3	9.9	10.4	16.7	0.5	16.7

自分のいるオフィスの空気を 100 点満点で採点すると何点？

- ◆ 自分がいるオフィスの空気を総合的に見て 100 点満点で採点すると 64.4 点。最も点数が低いのが「残業時のオフィスの空気」で男性（61.1 点）、女性（54.4 点）。全般的に平均点は男性より女性が低く、年齢別では若い人（20 代・30 代）ほど平均点が低い傾向。

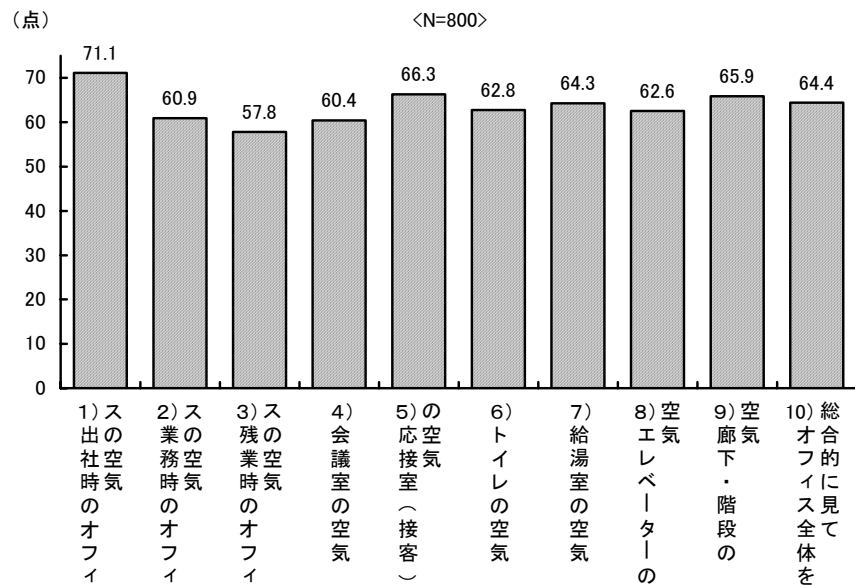
自分がいるオフィスの空気を 100 点満点で採点すると何点くらいだと思うかを聞きました。平均点で見ると、最も点数が低いのは「残業時のオフィスの空気」（57.8 点）で、次いで「会議室の空気」（60.4 点）、「業務時のオフィスの空気」（60.9 点）、以下「エレベーターの空気」（62.6 点）、「トイレの空気」（62.8 点）の順となっています。さらに、「給湯室の空気」（64.3 点）、「廊下・階段の空気」（65.9 点）、「応接室の空気」（66.3 点）の順で続き、「出社時のオフィスの空気」（71.1 点）が最も高くなっています。

なお、総合評価である「オフィス全体を総合的に見て」は 64.4 点という結果です。

性別で見ると、全般的に平均点は〈男性〉より〈女性〉の方が低くなっています。これは、後述する「オフィスの空気の汚れが気になるか」の問いと同じく、女性の方が男性に比べて空気の汚れに敏感な傾向と言えます。最も採点の低い「残業時のオフィスの空気」では〈男性〉の 61.1 点に対して〈女性〉は 54.4 点となっています。

年齢別では、大半の項目は若い人ほど平均点が低くなる傾向が見られます。

職種別に見ると、いずれの項目も〈事務系〉〈研究開発系〉の平均点が低く、〈営業系〉を下回っています。



性別	男性 <n=400>	72.0	63.9	61.1	63.7	69.3	62.3	65.3	64.3	66.5	66.0
	女性 <n=400>	70.2	57.9	54.4	57.0	63.1	63.3	63.4	60.7	65.3	62.9
年齢	20代 <n=200>	67.4	55.9	51.6	57.4	64.8	57.3	61.4	59.0	62.8	59.9
	30代 <n=200>	69.0	58.9	54.8	58.4	63.2	60.4	62.0	60.5	63.5	61.8
	40代 <n=200>	70.3	60.5	58.2	59.3	64.9	64.0	64.0	61.7	65.3	64.5
	50代 <n=200>	77.5	68.3	66.6	66.7	72.1	69.7	70.1	69.3	72.1	71.6
職種	事務系 <n=489>	70.9	59.7	57.1	59.4	64.6	63.1	64.5	62.7	66.3	64.0
	営業系 <n=137>	74.0	64.9	60.9	64.3	71.0	64.4	65.8	63.4	67.3	67.4
	研究開発系 <n=174>	69.2	61.0	57.1	60.1	67.2	60.9	62.8	61.6	63.8	63.3
オフィス全体の評価	低 (59点以下) <n=203>	53.0	36.3	33.8	37.9	43.8	42.2	43.3	43.3	45.8	40.3
	中 (60~79点) <n=405>	73.4	63.5	59.8	62.5	69.7	65.2	67.1	63.9	68.5	66.9
	高 (80点以上) <n=192>	85.4	81.4	78.9	80.5	83.5	79.8	81.2	80.2	82.0	84.8

オフィスの空気は仕事に影響を与えると思うか

- ◆ オフィスの空気が、仕事の効率や成果に「多少影響があると思う」(51.4%)、「大いに影響があると思う」(43.0%)を合わせると94.4%が「影響がある」と回答。

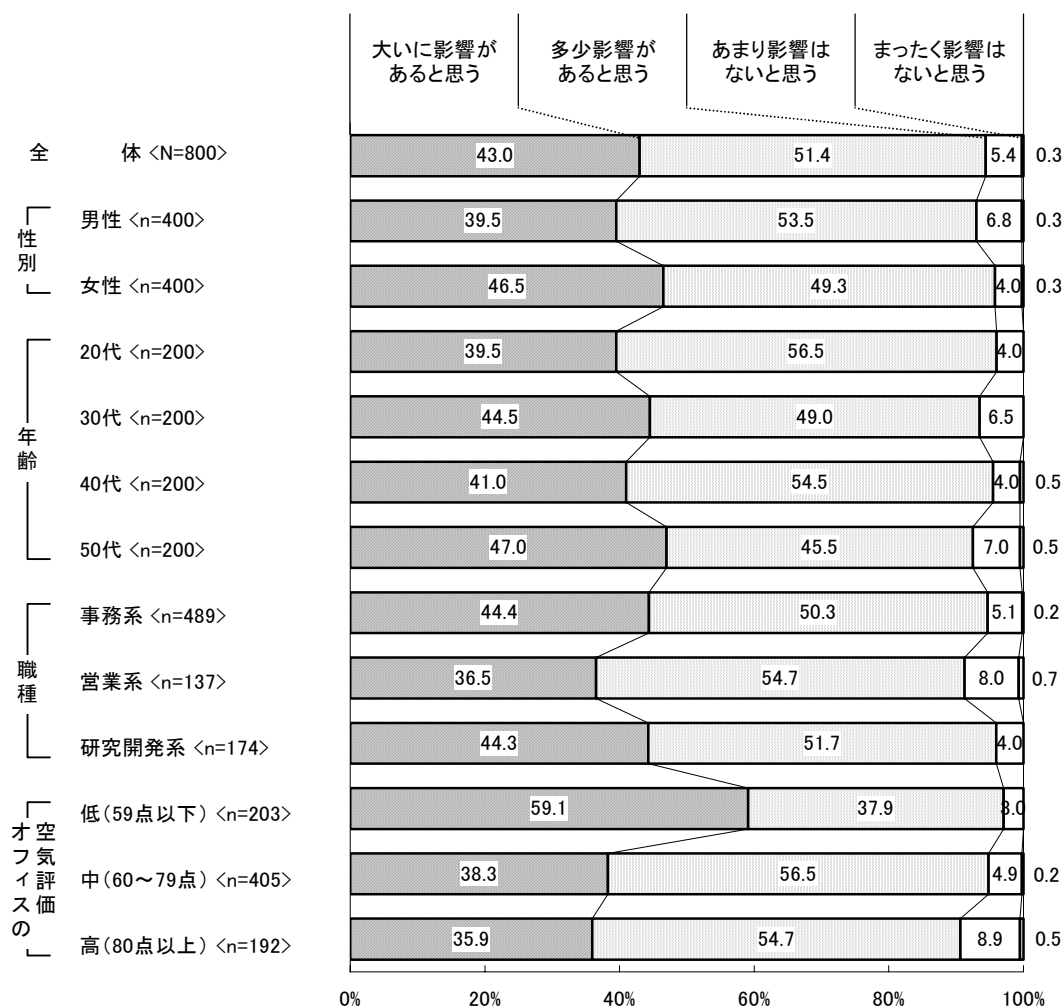
オフィスの空気は、仕事の効率や成果に影響を与えると思うかを聞きました。「多少影響があると思う」(51.4%)が最も多く、次いで「大いに影響があると思う」(43.0%)の順となっています。両者をあわせると実に9割以上の方が“影響がある”(94.4%)と考えていることが分かります。

性別に見ると、「大いに影響があると思う」は<男性>(39.5%)より<女性>(46.5%)の方が多くなっています。年齢別では、<50代>は「大いに影響があると思う」(47.0%)がとりわけ多くなっています。

職種別に見ると、「大いに影響があると思う」と答えた方は、比較的内勤の多い「事務系」(44.4%)・「研究開発系」(44.3%)に多くなっています。

年齢、性別、職種を問わず、多くの方々にオフィスの空気は、仕事の効率や成果に影響があると考えられているようです。

《オフィスの空気は仕事の効率や成果に影響があると思いますか？》



風通しのよいオフィスは、業績の見通しも明るい!?

～オフィスの空気評価と会社の業績～

◆オフィスの空気を高く評価（80点以上）している人の8割以上（82.8%）が自分の会社の業績が昨年と比べて“上がっている”と回答。

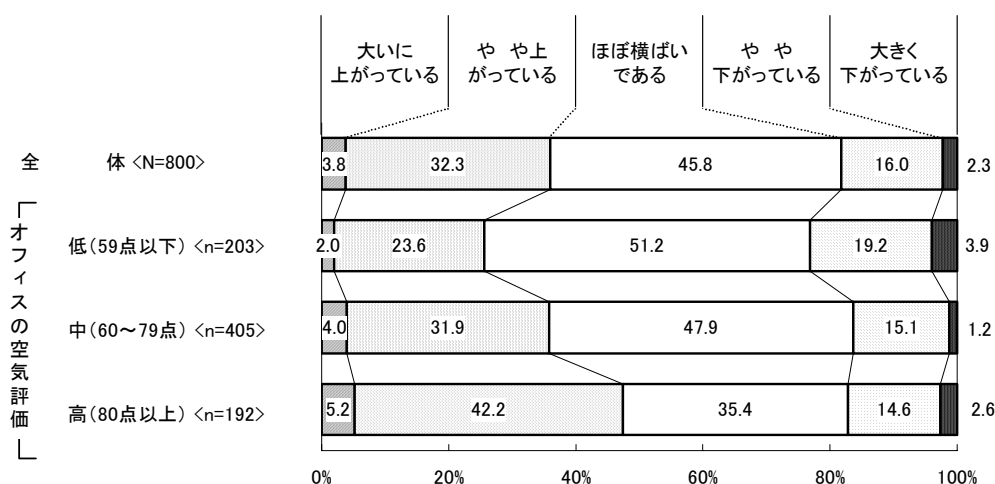
今後1年間では50%が“上がると思う”と明るい見通し。

自分の会社の業績が昨年に比べてどうかを聞いた結果を、オフィスの空気評価別に見ると、〈高く評価している人〉は“上がっている”（47.4%）が半数弱を占めており、〈中程度に評価している人〉（35.8%）や〈低く評価している人〉（25.6%）を大きく上回っています。“ほぼ横ばい”を含めると実に82.8%の人が、上昇または現状維持。下がったと答えたのはわずか16.8%と少数派となりました。

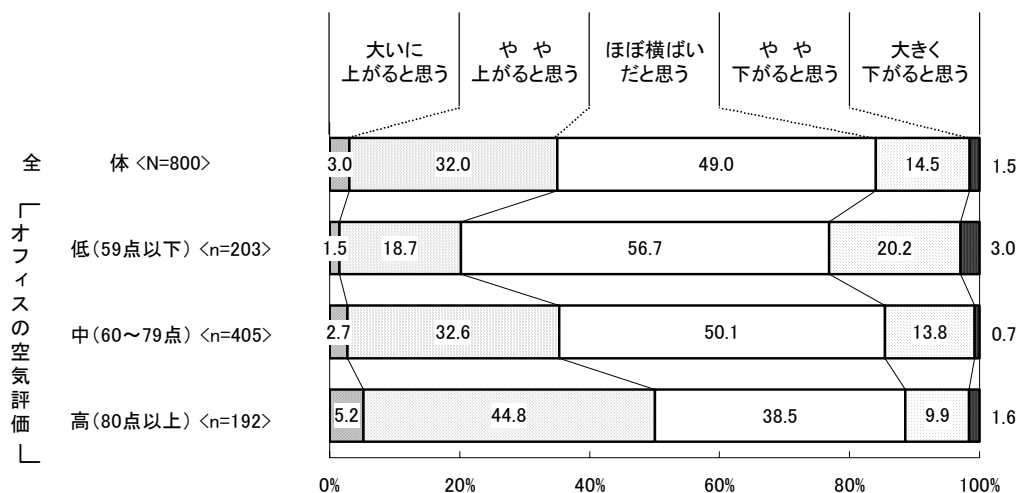
さらに、今後1年間の業績の見込みをオフィスの空気評価別に見ると、高く評価している人の50.0%が“上がると思う”と回答しています。

オフィスの空気のきれいな会社は業績も業績見通しも明るいという結果が出ました。

《あなたの会社の業績は、昨年と比べていかがでしょうか？》



《今後1年間の、あなたの会社の業績はどのようになると思いますか？》



オフィスの禁煙・分煙は8割で実施。一方、新たな不満の声も。

◆8割(79.3%)のオフィスが何らかの禁煙・分煙対策を実施。
しかし一方では、喫煙者・非喫煙者それぞれに新たな不満点が出ている。

オフィスの禁煙・分煙状況について聞いたところ、「密封された喫煙室があり『完全分煙』となっている」(44.4%)が4割強で最も多く、次いで「喫煙室が密封されておらず『不完全分煙』となっている」(32.3%)の順となっています。「喫煙時間を制限した『時間制禁煙』となっている」(2.6%)はあまり多くありません。しかし、何らかの対策を設けているオフィスは8割(79.3%)にのぼっており、「特に禁煙制限は設けていない(禁煙・分煙化されていない)」(20.8%)は2割にとどまっています。

さらに、「仕事の効率」という観点からのオフィスの禁煙・分煙対策に対する考えを聞いたところ、【喫煙者の意見】では、「効率が下がる」が51件と、禁煙・分煙を歓迎しない向きが「効率が上がる」(32件)をやや上回っていますが、「効率に影響はない」(32件)との意見も多くあげられています。

一方、【非喫煙者の意見】では、「禁煙・分煙で効率が良くなる」(155件)と禁煙・分煙を歓迎する指摘も多くあげられています。禁煙・分煙を進めてもなお、「タバコの臭いで作業効率は落ちる」(150件)、「タバコの煙は能率を下げる」(78件)と、“完全禁煙にしない限り非喫煙者の仕事の効率低下を招いている”とする意見も非常に多くあげられています。さらに、喫煙のたびに喫煙ルームへ行く愛煙家に対して「喫煙しているのを見るとサボっているように思う」(10件)、「喫煙者を探す手間が増え効率が悪くなった」(5件)などの意見があげられています。

オフィスにおいて禁煙・分煙化はかなり進んできているようですが、喫煙者・非喫煙者それぞれにとって、その対策はまだ充分ではないようです。両者が快適に共存できるオフィス環境が求められているのではないのでしょうか。

※本調査の詳細につきましては、「総合報告書」がございますので下記までご連絡下さい。

●この件に関するお問い合わせ先

ダイキン工業株式会社

【本社】〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目4番12号(梅田センタービル)
TEL (06)6373-4348(ダイヤルイン) / FAX (06)6373-4330
広報部長 芝 道雄 / 課長 片山 義丈

【東京支社】〒108-0075 東京都港区港南二丁目18番1号(JR品川イーストビル)
TEL (03)6716-0112(ダイヤルイン) / FAX (03)6716-0200
広報部 東京担当部長 井上 武郎 / 山田 香織

空気の調査ライブラリー「空気の快適デザインブック」アドレス

<http://www.daikin.co.jp/kuuki/index.html>